

1 活動名 信州オーガニック議員連盟準備会合・基調講演参加

2 研修の目的

- (1) 本市における課題 有機農業推進およびオーガニック給食の実現
- (2) 研修の必要性 他市の成功事例を行政担当者の経験から学ぶことは必要
- (3) 研修項目 研修内容と同様

3 研修内容

- (1) 日時 令和2年2月4日
- (2) 会場 県労働会館（長野県長野市）
- (3) 出席者 1名 神津ゆかり
- (4) 内容

ア 地産地消で食育のまちづくり～愛知県今治市の実践 今治市産業部 安井孝氏

(5) 成果・所感等

今治市の学校給食は、今治産の食材、近隣または県内産、四国、西日本、国産というように、地元に近いところから食材を調達し、遺伝子組み換えとわかる食材の使用も避けている。現在、市内産40%、今治以外の県内産20%、県外産40%で、全体の約1割が市内産の有機農産物である。週5日のうち、3日が米飯、2日がパン食であり、お米は平成11年より全量を市内産の特別栽培農産物（農薬、化学肥料当地比50%以上減）、パンは市内産小麦「ニシノカオリ」を約7カ月分が供給されている。そのほか、地元産大豆による豆腐、地元産小麦によるうどんなど、次々と地産地消の給食を進めている。

学校での食教育、地域では、農産物直売所、農家レストラン、農家カフェなど産業振興に寄与し、グリーンツーリズムも盛んとのこと。まさしく、有機給食からはじまる地域づくりが実践されています。

今治市とは市の規模は異なるが、松本市でも地産地消と安心安全な食材の給食を地元の学校で進めたい。

4 政務活動費

- (1) 使途項目 研究研修費
- (2) 支出額 5,846円（交通費）